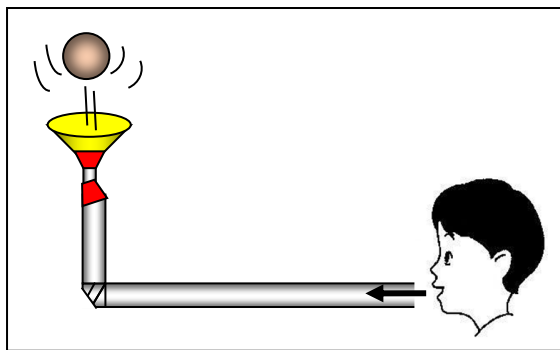


“吹き玉”であそぼう

板柳町少年少女発明クラブ・野呂茂樹

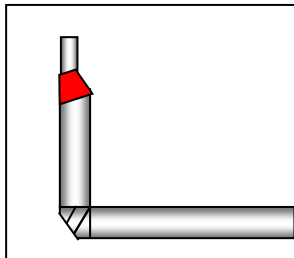
管から吹き出た空気で小物体を浮かせて楽しむ、昔からよく知られているおもちゃです。吹き出し口を狭くしてより長い時間吹けるようにし、また、浮かせる玉に100円ショップの「とうもろこしスティック」を利用し玉の大きさ／形を工夫できるようにしました。

うまく浮かせるにはコツがあります。がんばって名人になりましょう。

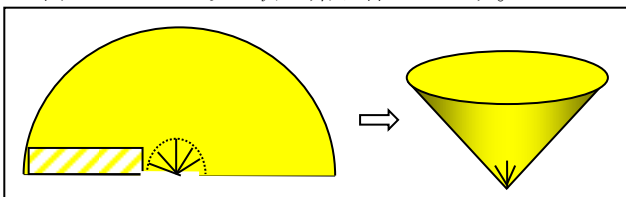


【つくり・あそび】

- ① 6~7mmφの曲がるストローの短い筒の中に4mmφ・5cm長のストローを差し込み、3cmほど端を出し、ビニルテープ／アルミテープ／セロファンテープなどで空気漏れがないように固定します。

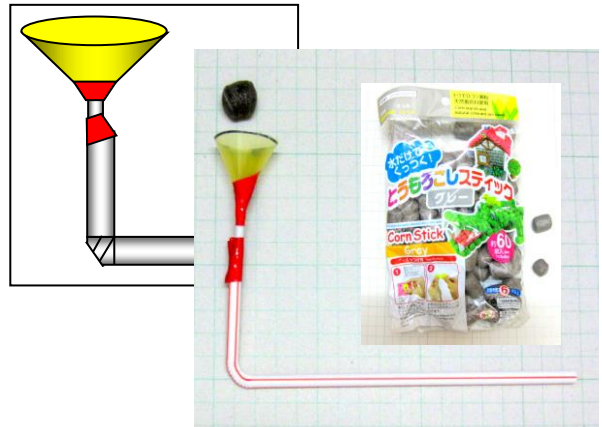


- ② “玉受け”をファイルシートからつくります（紙でもできますが、唾液で濡れて弱くなります）。大きな半円は半径3cmほど、小さな半円は半径4mmほどです（数本の切れ目を入れます）。両面テープでろうと状に貼り合わせます。

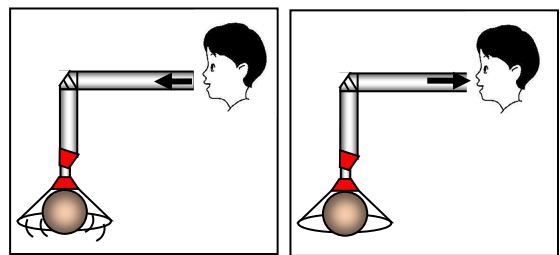


- ③ 4mmφのストローの先端に、“玉受け”をビニルテープ／アルミテープ／セロファンテープな

どで固定します。



- ④ 太いストローの端を口にくわえ、息を吹き込み、細いストローの上部に”玉”をそっと置くと、揺れながら浮きます。
- ⑤ 装置を逆さにして、強く吹いてみましょう。
”玉”は玉受け内でくるくる回り落ちてはきません。
- ⑥ 装置を逆さにして、吸ってみましょう。
”玉”は落ちてはきませんが、回ってもいません。



- ⑦ “玉”形／大きさを変えてみましょう。
例：押しつぶして小さくする。セロファンテープを貼って重さを変える。
- *手芸店などで入手できる1.5~2cmφの発泡スチロール球を使うとより安定して浮かせることができます。

【参考文献】

- ・津田妍子「科学あそび大図鑑」（大月書店）
- ・内田正夫「吹き玉で親子競争」（「ものづくりハンドブック1」仮説社）